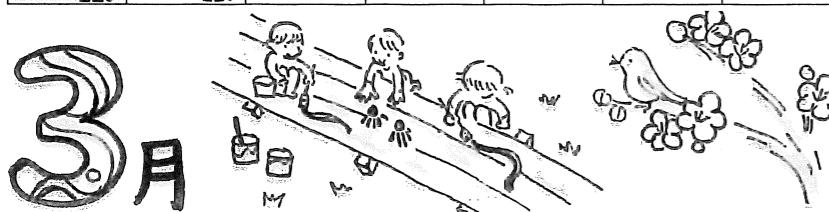


★ やってきました KUJIROCK 3月開催予定

今回はどんなバンドが出演するのか☆ご期待!
開催日が決まり次第、夢パーク内の掲示、HPでお知らせします。



日	月	火	水	木	金	土
SNS (サタデーナイトスタジオ) スタジオ利用の中高生交流会						
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21 点検日 休み	22	23 天皇誕生日	24	25
26	27	28 17時 閉所				



日	月	火	水	木	金	土
支援委員会では3月下旬に 大掃除イベントを企画中 近くになりましたら館内掲示します。						
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 点検日 休み	21 春分の日	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31 17時 閉所	

開所時間：午前9時～午後9時 ★入場無料★ ●駐車場はありません (障がい者用駐車場についてはおたずねください)
★イベントは都合により中止または変更となることがあります。

2月・3月のイベント

夢バのイベント
申込不要
・外遊びは
要着替え!

火と工具の日
たき火・工具が使えます。《月水土日 9:30～》
★ たき火の団体利用(10:00～14:00)は
予約・事前打合せが必要です。

メンテナンスの日
壊れた自転車の解体して部品に分けたり曲がった釘を直したり。当日のメニューはスタッフへ

キレイにじ隊
晴れた水曜日に夢パーク周辺のごみ拾い

畑作業
入口近くの畑で季節に応じて苗植えや収穫《不定期》
★ 夢パーク内の掲示やスタッフへお問合せください

おはなし パーク
絵本の読み聞かせ《時間：11:00～場所：ゆるり》
毎月第2火曜日・中川さん川野さん
毎月第3木曜日・おはなしブックカフェさくら

親子でもっとあそぼう会
フレーバーで一緒に遊ぼう!汚れてもいい格好で。
《第2水曜 10:30～ フレーバー》

内容：2月8日(水)『かまどで焼き焼き』
3月8日(水)『染め物しよう♪』
焼きたい物を焼こう!

金曜あそぼう会
外あそび初心者、よちよち歩きの乳幼児の外遊び
《第2・4金曜、10:30～フレーバー》

ゆるりであそぼう、話そう会
室内遊び、読み聞かせ／子育てのお悩み相談
《第4水曜、10:30～11:30 場所：ゆるり》
内容：2月22日(水)『目の発達 あそび』
3月22日(水)『トイレ』

おさがりバザール
我が家には小さくなつた『子ども服』と『靴』の譲りあい(無料)。季節に合わせてお持ち寄りください。

《5・7・9・11・1・3月、中～下旬の1週間
9:30～18:00 場所：受付窓口前》
★洗濯して畳んで出してください。
穴が開いたりすり減っているものは出せません。

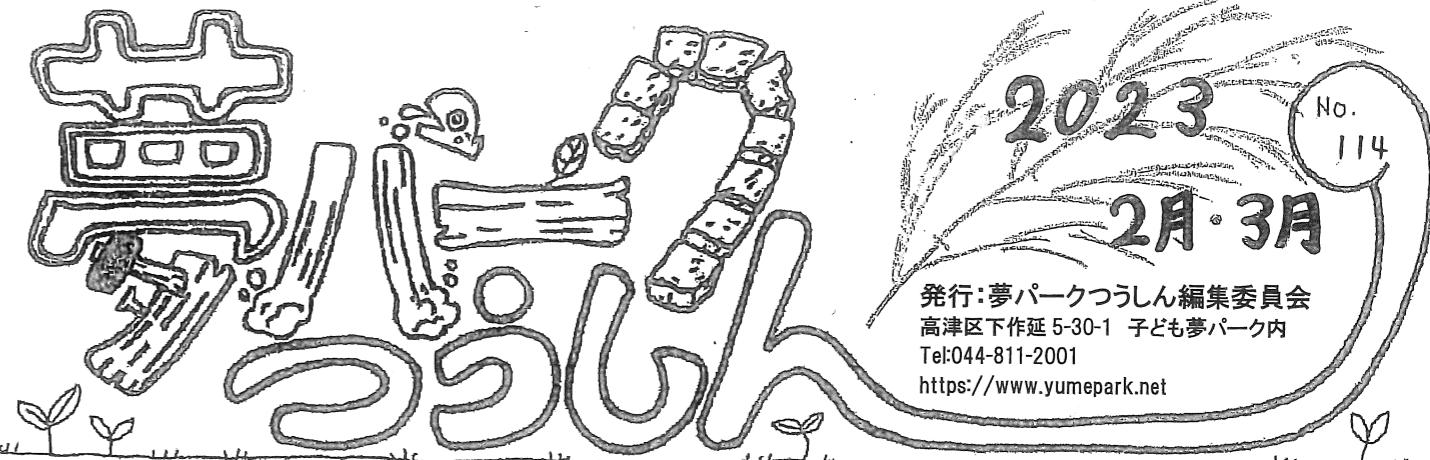
★おさがりのお持込みは、おさがりバザール期間中に!

つくりつづける会(利用者懇談会)
夢パークを利用する団体や個人、支援委員会、夢パーク・えんスタッフたちで近況報告や情報交換。夢パークについて関心のある方、どなたでも気軽に参加できます。
ぜひ、のぞいてみて下さい。
《主に第3土曜 14:00～ 場所：創作スペースなど》

スタジオ講習
スタジオを利用したい人は必須!
《第2・4土曜 14:30～》
★申込み：7日前から窓口で、本人のみ

いつでもベーゴマ!
初めての子も得意な子も一緒にベーゴマをまわそう!
やってみたくなったら、ベー床だして!ってスタッフに声かけてね。ベーゴマの貸し出しあります。購入も可。

要申込



2023

No.

2月・3月

発行：夢パークつうしん編集委員会
高津区下作延5-30-1 子ども夢パーク内
Tel:044-811-2001
<https://www.yumepark.net>

言いたいこと言ってもいい、言わなくてもいい

遊んでもいい、なにもしなくてもいい

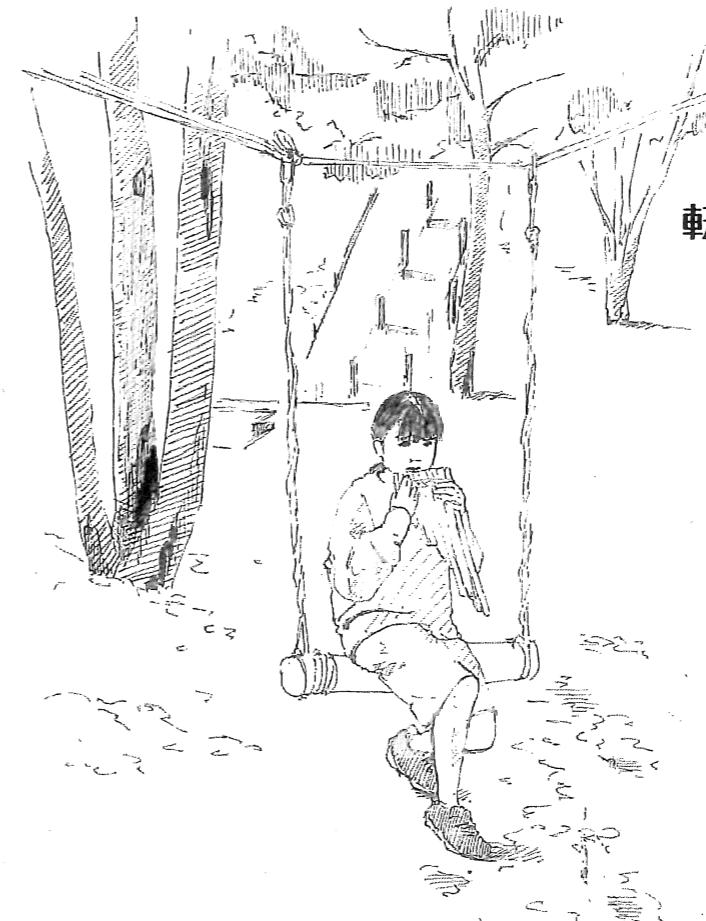
喧嘩してもいい、話し合ってもいい

歩いてみてもいい、走ってみてもいい

転んでもいい、違う景色が見れたらいい

変わってもいい、変わらなくてもいい

そのままの君で、いるのがいい



【川崎市子どもの権利に関する条例】は2001(平成13)年に全国ではじめてつくられました。子ども一人ひとりが人間として大切にされ、守られながら自分らしく生きられるように作られた、市と市民との「約束」です。

この条例をもとに、子どもの居場所・活動の拠点となるように作られた『子ども夢パーク』

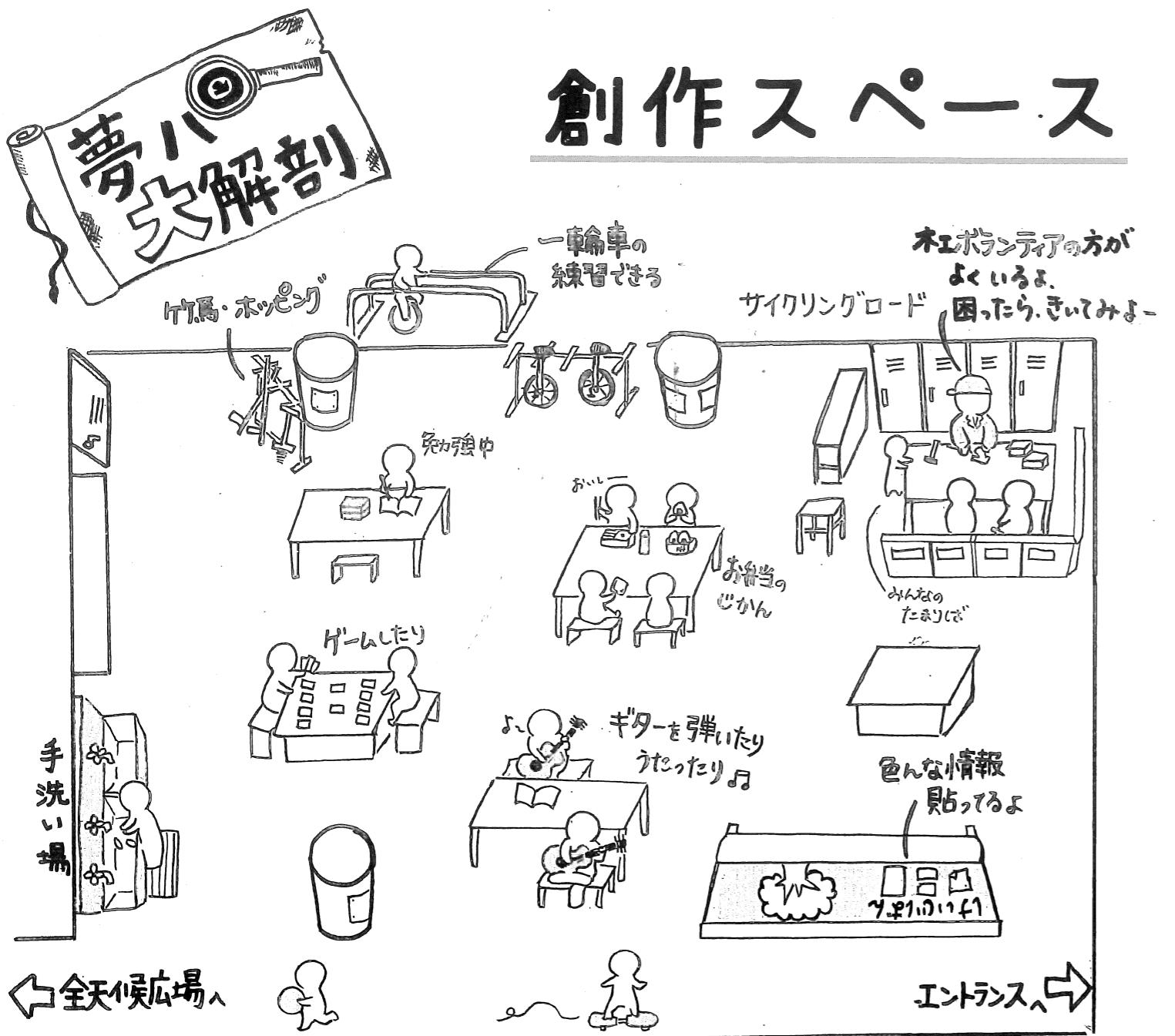
ここは、子どもがだれでも自由に遊んだり、やりたいことにチャレンジできる場所です。



- ★ 人間として大切な子どもの権利 ★
- 1、安心して生きる権利
- 2、ありのままの自分でいる権利
- 3、自分を守り、守られる権利
- 4、自分を豊かにし、力づけられる権利
- 5、自分で決める権利
- 6、参加する権利
- 7、個別の必要に応じて支援を受ける権利

11月20日はかわさき子どもの権利の日

創作スペース



～こんな場所だよ～

イスと机が置いてある屋根あり壁なしのスペース（ピロティ）です。お弁当を食べたり、休憩する場として使えます。休憩以外にも、勉強をする子やギターを弾いたり、ゲームをしたりする子も。

一画には、木工ボランティアのおじさんがいて、物づくりをしており、一緒に作りながら色々教えてくれることもあるかも？おじさんがいる時は、人が集まる憩いの場にもなっています。

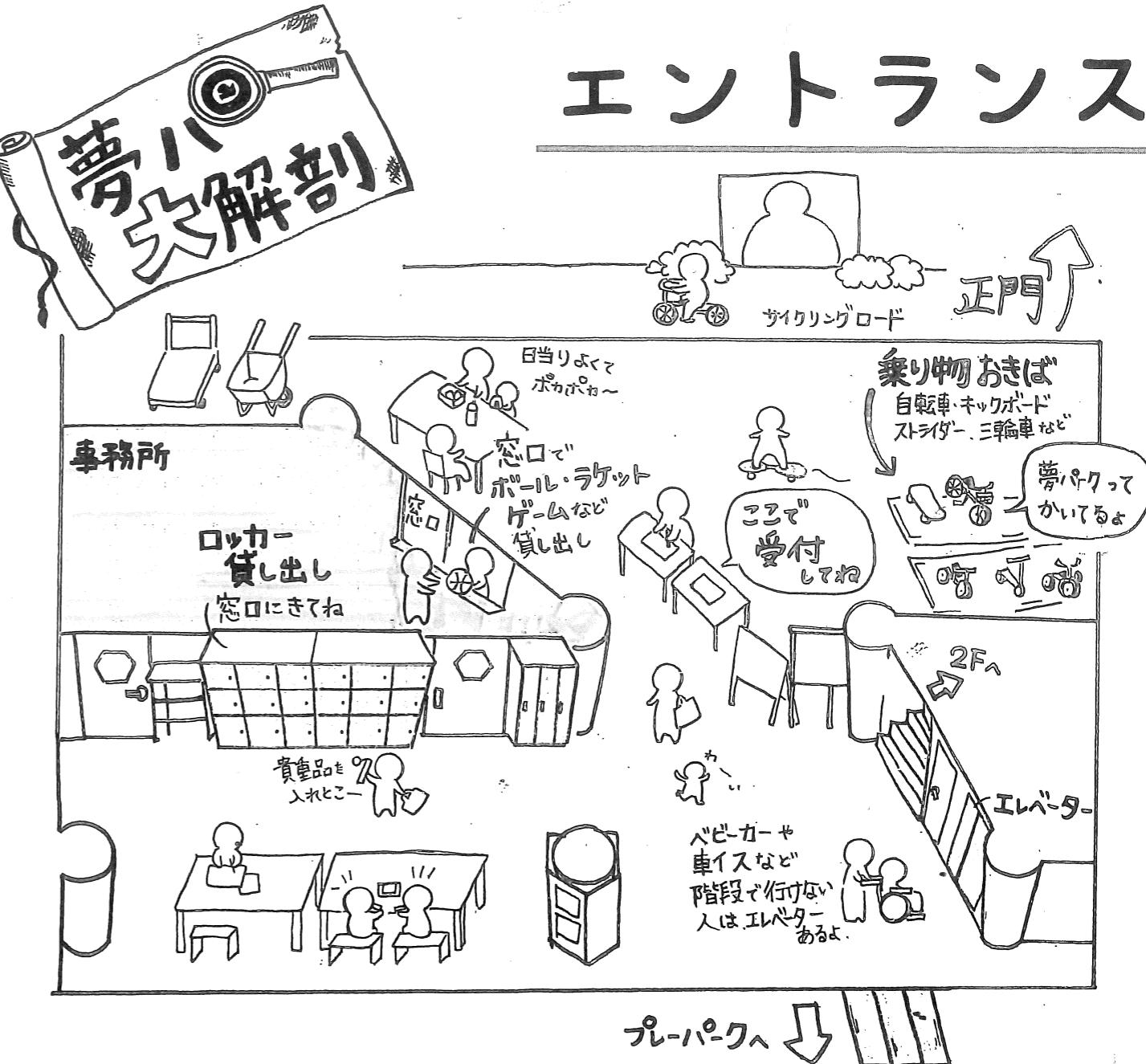
～スタッフの目～

ひそかに夢パークでブームとなっている遊び。それは、とあるひとりの女の子から始まった「魔法の杖」作り。これがとても楽しい。自分にとっての一本と出会うため、枝を求めて夢パークを歩き回ります。『杖は選ぶものではなく、杖に選ばれる』と子どもがいいます。杖になる枝が決まつたら（選ばれたら）、やすり（鉄やすりから紙やすりの細かいものまでいろんなやすり）を使って納得のいくまで磨き上げる。長さ、太さ、色合い、すべすべ具合は作り手次第。数時間で完成させる子も、数日かけて完成させる子も。作り手によって、こだわる部分は違います。とても個性が出る杖作り。小さい子から大人まで楽しめて、ハマってしまうこの遊びにはみんなを引き付ける魔力があるのか。そういう「魔法の杖」だもんな、魔力があって当然か。

～こんな使い方も～

創作スペースは遊びの場にもなるので、鬼ごっこやプレイブボード、雨の日にはベーゴマや工作をしてみたり。他にもみんなで話し合いをする場としても使っており、横丁の説明会や、つくりつづける会（利用者懇談会）、子ども達がイベント企画をプレゼンしたこともあります。毎年夢パまつりでは、店が出て多くの人が集まる賑わいの場にもなっています。

（ス・まりっぺ）



～こんな場所だよ～

正門をくぐって、まず通るのがエントランス。まずは受付をしてくださいね！

窓口ではボール・ラケットやゲームの貸し出しの他、荷物を入れるロッカーのカギ、温水シャワーのメダルもお貸し出しています。

ケガなどで困ったとき、木工で作った物を自慢したいときなど、何かありましたら窓口まで。

エントランスには、小さい自転車やキックボードなどの乗り物も置いてあって自由に乗ってOK！

～こんな使い方も～

エントランスでは、2ヶ月に1度（1週間）おさがりバザールを開催しています。天気のいい日は、ゆるりで開催している「おはなし×2パーク（絵本の読み聞かせ）」をエントランスでしたり。

受付前は日当たりが良くて、そこでお弁当を食べたりゲームしたりと憩いの場にもなっています。プレイブボードでぐるぐる遊ぶ子の姿も。

（ス・まりっぺ）

～スタッフの目～

夢パークの事務所窓口、日々楽しいやり取りが繰り広げられています。（ここから「り」は利用者さん、「ス」は事務所スタッフです）（り）「あの～、NHKの「ドキュメント24時間見たんですけど…」-(ス)「あっ72時間ですね？」-(り)「…あの～、こちら大人だけでもいいんですか～？」-(ス)「もちろんです！受付簿の年齢枠に人数の記入だけはお願ひしま～す」。遊具の貸し出し業務では、(り・たどたどしい口調の幼児さん)「ボオル、く～ださい」-(ス)「ボールはあげられませ～ん」-(り)「…？」-(ス)「でも！貸してあげられま～す！」

その他、「竹馬の高さ変えて下さ～い」「自転車のチェーン外れちゃいましたー」「すりむいちやったんですけど絆創膏ありますか？」などの声掛けにこちらも楽しんで対応しています。

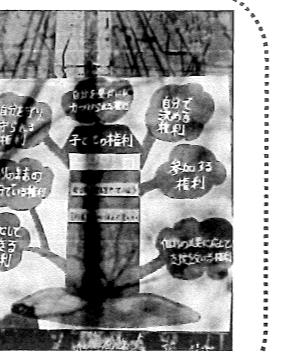
あたたかな陽ざしのもと、子どもたちの明るい声、時にはギターやチャランゴ、サンポーニャや三線などのすてきな音色も聞こえてくる事務所周辺は「夢パの穴場」ですよ～！

（ス・くにさん）

★ 「かわさき子どもの権利の日」 ★

11月20日は「かわさき子どもの権利の日」です。その日に向け、子どもの権利の啓発のため、来所者の子どもたちと一緒に権利看板を作成をしました。夢パークの裏山にある大きな木とツリーハウスをモデルに、大切な7つの権利と「遊んでもいい、休んでもいい」などのメッセージボードを作り貼りました。

12月10日(土)は麻生市民館にて「かわさき権利の日のつどい」が開催されました。夢パークは「出張!夢パーク」として、クリスマス工作や昔遊び、ピタゴラスイッチを持っていました。工作では木材に生花のようにお花をさして飾り付けをしたり、リース作りを行いました。ピタゴラスイッチでは、椅子やダンボールで高さを変えてレールの上をうまくビー玉が転がるか試行錯誤している子どもたちの姿が印象的でした。(ス・たかし)



★ クリスマスイベント ★

12月23日(金)に「クリスマスイベント」を開催しました。

午前中、乳幼児親子がクリスマス工作をしているところに、サンタが登場!プレゼントを配ってまわっていました。

午後は「謎解きイベント」を行いました。夢パーク内に19問のなぞが貼りだされ、みんなで協力して解き明かし、難易度の高い20問目はみんなで挑戦!するはすが、なんと発表した瞬間にひとりの男の子が解き明かし、驚きの声が上がりました。謎解きが終わるとサンタクラザーズが登場。子ども達と協力して弟サンタが空中浮遊させる一幕も。子どもたちは最後の「謎解き」を目撃?!してとても盛り上がりました。(ス・たかし)

★ 新春イベント ★

今年もどんど焼きは、青竹と皆さんの持ち寄られたお飾りでおおきくなり、卯歳の子の火着けはじめました。竹の焼ける「ポンポン」の響きが新春イベントを感じさせます。午後1時半、子どもたちは熾火(おきび)となったどんど焼きで団子を焼きます。長い竹を火に向け、熱かったり・煙かったり・良く焼く派・焼かなーい派。小さな団子ですが、皆さんに幸せが届きますように。



最後になりますが、『もちつき』は支援委員会、町会、他ボランティア、多くの皆さんのご協力により、3年ぶりの開催となりました。ありがとうございました。(ス・ふじさん)



1月8日に「新春イベント」がありました。毎年、もちつき大会は支援委員会を中心となりスタッフと協力しながら開催してきましたが、去年、一昨年はコロナの影響で中止となっていました。



今年も、ギリギリまで開催が危ぶまれましたが、当日は天候にも恵まれ、久しぶりに「よいしょー!よいしょー!」とおもちをつく威勢の良いかけ声が夢パークに響きました。

イベントでは、前日の準備から当日まで、近隣町内会の方々やボランティア団体の皆さん、学生ボランティアなど、本当にたくさんのみなさんに協力していただきました。みんなでおもちをつけ、どんど焼きの火を囲んでお団子を焼く子ども達の笑顔が見られたのも、多くの方のお力添えのおかげです。ありがとうございました。(支・くらた)

昨年度のつくりつづける会では、「ゆるすぎプロジェクト」として、「ゆるり」とその入り口前通りを乳幼児親子の過ごしやすい環境につくり変えることにチャレンジしました。

そして、今年度進行中のプロジェクトは、「ごろりの古い本を整理したい!」という声から本を購入するための話し合いへ発展しています。また、「『ゆめばのじかん』を夢パークで上映したい!」と企画しているメンバーもいます。

つくりつづける会は、大人の参加がほとんどなのですが、大切にしていることは、遊びに来ている子どもたちの気持ちを置き去りにしないこと。多様な形で子どもたちの声を取り入れながら、夢パークがもっと居心地よくおもしろい場所になるために、地域の大人たちも試行錯誤しながら楽しんでいます。

2023年は、いよいよ夢パーク20周年!どんな年にしたいか、つくりつづける会でも話はじめていますよ~☆

(支・ぐり)

■つくりつづける会:(毎月第3土曜日午後2時~)
※詳しくは、夢パーク事務所にお問い合わせください。

■ 横丁税の使い方 ■

夢パークで年一回行われる、おまつり「子どもゆめ横丁」このイベントでは、子どもたちが自分たちの力だけでお店を建築し、商品を自作準備、当日も実際のお金を使用して商売をするというイベントです。

その総売り上げから10%を横丁税と銘打って、みんなで集めました。使い道も出店した子どもたちで話し合います。様々な意見が飛び交うなか、最終的に決まったものがこちらです!

- ・『さくらの木を植える』
- ・『りんごの木を植える』
- ・『プラレールを買う』
- ・『巨大ブランコを作る』
- ・『脱出ゲームを開催する』

みんなで集めた横丁税は、これらを実現させるために使用することになりました。子どもたちの発想はいつでも自由自在、いろんな意見がでてきて楽しいですね。(ス・りゅうちやん)



■ プロジェクトX ■

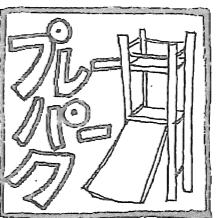
3月4日(土)の「たまりばフェスティバル」に向けて、今年もプロジェクトX(フェスティバル実行委員会)が始動しています。年内にはフェスティバルのチラシやチケットが無事に完成し、年明けからはプログラム組みです。各講座や個人、グループなどでステージに立ちたい人は、えんの中に貼ってあるエントリー表に自分の名前やグループ名、パフォーマンス内容を書いてもらっています。今年も歌やダンス、演劇、スライドショー、個性あふれる演目が集まっています。演劇の講座や歌の講座、ダンスの講座では、やる内容や選曲が決まり、いよいよフェスティバルモードといった感じで、みんな気合いが入って来ていますよ~!

(ス・もぐ)



■ 水遊び ■

水遊びは夏!なんてことはありません。冬でも夢パークでは、水遊びや泥遊びが人気です。手が凍るような冷たさでも、こどもたちはホースを握りしめ、スコップで土を掘り起こし、川やダムを作ったり、ただただ泥の中に浸かっています。全身ずぶぬれでもなんのその。年始にはウォータースライダーで滑っている少年も! 実際、冬にウォータースライダーは動いていないのですが、ホースを自ら引っ張ってきて水を流し、おしゃりに敷く良さげなものを探し出していました。寒くなるとたき火に寄ってきて、温まるときまた水遊びに繰り出していく。そんな光景が冬でも広がっています。大人が考える「普通」とか「常識」とかを飛び越える子どもたちのパワー。すさまじい…(ス・ヒロト)



■ おはなしブックカフェさくら ■

毎月第3木曜11時から「おはなし^{×2}パーク(読み聞かせ)」をしてくださっているみなさんに伺いました。

小学校のボランティアで読み聞かせをしていた絵本大好き!な17名のメンバーが「おはなしを届ける」事をテーマに、お届け先の皆様と一緒に「おはなし」を楽しみ、仲間と共に成長していくことを目指して約9年。夢パーク以外にも地域の子育てサークル、高齢者施設、子ども文化センター等で、絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター等を時にハンドベルや鍵盤ハーモニカ等の音楽を交えてのおはなし会を開催しています。また、不登校や闘病中のお子さんへの個別のおはなし会も行っています。

やりがいを感じるのは、「おはなし」を届けた先の皆様が笑顔になり喜んでくださった時や「おはなし」の世界を感じてホッとする時間を持っていただいた時、絵本の力を日々の力にしていただくお手伝いができたと感じる時です。

「おはなし^{×2}パーク」は
第2火曜、第3木曜11時~です

